

## 第27回 柔道整復師国家試験問題

### 午 前

問題 1 息骨結合の連結様式はどれか。

- 1. 釘植
- 2. 縫合
- 3. 軟骨結合
- 4. 鞣帶結合

問題 2 蝶番関節はどれか。

- 1. 桡骨手根関節
- 2. 腕橈関節
- 3. 腕尺関節
- 4. 上橈尺関節

問題 3 関節と内部構造の組合せで正しいのはどれか。

- 1. 胸鎖関節——関節唇
- 2. 肩関節——関節半月
- 3. 股関節——関節内靭帶
- 4. 膝関節——関節円板

問題 4 股関節の外転に働く筋の支配神経はどれか。

- 1. 上殿神経
- 2. 下殿神経
- 3. 坐骨神経
- 4. 閉鎖神経

問題 5 ATP の合成に関与しているのはどれか。

- 1. 核
- 2. ミトコンドリア
- 3. 小胞体
- 4. ゴルジ装置

問題 6 心室収縮時、左心室からの血液の逆流を防止する弁はどれか。

- 1. 三尖弁
- 2. 肺動脈弁
- 3. 僧帽弁
- 4. 大動脈弁

問題 7 一次視覚野があるのはどれか。

- 1. 前頭葉
- 2. 頭頂葉
- 3. 側頭葉
- 4. 後頭葉

問題 8 肩関節の内旋に働くのはどれか。

- 1. 三角筋
- 2. 棘上筋
- 3. 広背筋
- 4. 小円筋

問題 9 貪食作用を有するのはどれか。

- 1. 好塩基球
- 2. 好酸球
- 3. 単球
- 4. ナチュラルキラー (NK) 細胞

問題 10 健康の定義が定められたのはどれか。

- 1. アルマ・アタ宣言
- 2. オタワ憲章
- 3. ヘルシンキ宣言
- 4. WHO 憲章

問題 11 柔道整復師免許制度を設ける理由で誤っているのはどれか。

- 1. 社会福祉の充実を図るため
- 2. 免許者に独占的な施術を行わせるため
- 3. 衛生水準の向上を図るため
- 4. 人体に危害を及ぼす恐れがあるため

問題 12 徒手筋力テストで 4 と表示するのはどれか。

- 1. 重力に抗して完全に運動できる。
- 2. 若干の抵抗に打ち勝って完全に運動できる。
- 3. わずかな筋収縮はあるが関節は動かない。
- 4. 強い抵抗に逆らって完全に運動できる。

問題 13 喫煙が危険因子でない疾患はどれか。

- 1. 肺気腫
- 2. 心筋梗塞
- 3. バージャー (Buerger) 病

4. 肝硬変

問題 14 低血圧を起こすのはどれか。

- 1. 急性糸球体腎炎
- 2. ショック
- 3. 褐色細胞腫
- 4. 原発性アルドステロン症

問題 15 悪性腫瘍で誤っているのはどれか。

- 1. 膨張性に発育する。
- 2. 発育が速い。
- 3. 形態が不整である。
- 4. 境界が不明瞭である。

問題 16 疾患と原因の組合せで誤っているのはどれか。

- 1. 内反肘——上腕骨頸上骨折
- 2. 関節ねずみ——離断性骨軟骨炎
- 3. リトルリーグ肘——上腕骨内側上顆骨端線離開
- 4. テニス肘——上腕骨内側上顆炎

問題 17 大腿骨骨折で近位骨片が屈曲・外転・外旋転位するのはどれか。

- 1. 上 $\frac{1}{3}$ 部の骨折
- 2. 中 $\frac{1}{3}$ 部の骨折
- 3. 下 $\frac{1}{3}$ 部の骨折
- 4. 顆上伸展型骨折

問題 18 病的脱臼でないのはどれか。

- 1. 反復性脱臼
- 2. 麻痺性脱臼
- 3. 拡張性脱臼
- 4. 破壊性脱臼

問題 19 高齢者骨折の特徴で正しいのはどれか。

- 1. 関節拘縮が少ない。
- 2. 骨膜の連続性は保たれやすい。
- 3. 海綿骨の多い部位に発生しやすい。
- 4. 阻血性壊死を生じやすい。

問題 20 骨折の合併症とその原因の組合せで誤っているのはどれか。

- 1. 化膿性骨髓炎——開放性骨折
- 2. 過剰仮骨形成——粉碎骨折
- 3. 脂肪塞栓——骨盤骨折
- 4. 無腐性骨壊死——肋骨骨折

問題 21 関節と良肢位の組合せで誤っているのはどれか。

- 1. 肘関節——屈曲 90 度
- 2. 手関節——屈曲 30 度
- 3. 膝関節——屈曲 10 度
- 4. 距腿関節——屈曲・伸展 0 度

問題 22 骨折の合併症で正しいのはどれか。

- 1. フォルクマン (Volkmann) 拘縮は上腕骨骨幹部骨折で多くみられる。
- 2. 過剰仮骨は血腫の分散および流出が原因である。
- 3. 外傷性骨化性筋炎はスミス (Smith) 骨折で多くみられる。
- 4. ズデック (Sudeck) 骨萎縮はコレス (Colles) 骨折でみられる。

問題 23 外傷性脱臼に合併する軟部組織損傷で最も多いのはどれか。

- 1. 筋損傷
- 2. 関節包損傷
- 3. 神経損傷
- 4. 血管損傷

問題 24 顆関節前方脱臼で正しいのはどれか。

- 1. 男子に多く発生する。
- 2. 関節包が断裂する。
- 3. 下顎歯列は上顎歯列の後方に転位する。
- 4. 片側脱臼はオトガイが健側に偏位する。

問題 25 鎮骨骨折の症状で正しいのはどれか。

- 1. ピアノキーサインがみられる。
- 2. 患側の肩が挙上する。
- 3. 軋轆音を感知する。
- 4. 肩幅が増大する。

問題 26 上腕骨外科頸骨折の初検時にみられないのはどれか。

- 1. 三角筋部の膨隆が消失している。
- 2. 烏口突起下に膨隆がみられる。
- 3. 骨折部で上腕骨軸が前方凸に屈曲している。
- 4. 肩関節外転運動が制限されている。

問題 27 コレス (Colles) 骨折の外観で誤っているのはどれか。

- 1. フォーク状の変形を呈する。
- 2. 尺骨頭が突出した変形を呈する。
- 3. 中手指節関節が過伸展位を呈する。
- 4. 損傷部の厚さが増大する。

問題 28 コレス (Colles) 骨折の遠位骨片の転位で正しいのはどれか。

1. 回外・尺側・背側・短縮転位
2. 回内・橈側・掌側・延長転位
3. 回外・橈側・背側・短縮転位
4. 回内・尺側・掌側・延長転位

問題 29 肘関節脱臼後の骨化性筋炎で誤っているのはどれか。

1. 上腕部にみられる。
2. 肘関節可動域が制限される。
3. 無謀な徒手矯正が原因となる。
4. 直ちに外科的な処置に委ねる。

問題 30 肘内障で正しいのはどれか。

1. 腕尺関節の亜脱臼である。
2. 肘関節に運動痛がある。
3. 患部の腫脹が著しい。
4. 整復後は副子固定が必要である。

問題 31 血球で正しいのはどれか。

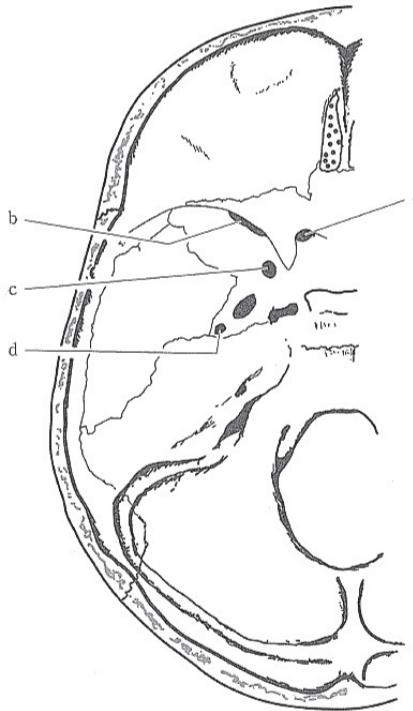
1. B リンパ球は胸腺で成熟する。
2. 好酸球は白血球中で最も数が多い。
3. 血小板は巨核球からできる。
4. 赤血球は円盤状の核をもつ。

問題 32 付加骨はどれか。

1. 鎖骨
2. 上腕骨
3. 大腿骨
4. 腓骨

問題 33 脊柱と関節をつくるのはどれか。

1. 上腕骨
  2. 鎖骨
  3. 大腿骨
  4. 寛骨
- 問題 34 頭蓋底の孔あるいは裂で正しいのはどれか。
1. a は角膜の感覚に関わる神経が通る。
  2. b は眼球運動に関わる神経が通る。
  3. c は顔面筋の運動に関わる神経が通る。
  4. d は大脳を栄養する動脈が通る。



問題 35 顔面神経支配を受けるのはどれか。

1. 側頭筋
2. 口輪筋
3. 外側翼突筋
4. 内側翼突筋

問題 36 距骨で正しいのはどれか。

1. 外側縦足弓の頂点に位置する。
2. 立方骨と関節を構成する。
3. 下腿の筋が停止する。
4. 距骨頸は距骨頭の近位に位置する。

問題 37 前十字靱帯が防ぐ脛骨の転位の方向で正しいのはどれか。

1. 外 反
2. 内 反
3. 前 方
4. 後 方

問題 38 各孔を通る神経と支配する筋の組合せで正しいのはどれか。

1. 梨状筋上孔——大殿筋
2. 梨状筋下孔——中殿筋
3. 閉鎖孔——長内転筋

4. 筋裂孔——双子筋

問題 39 心臓で正しいのはどれか。

1. 卵円窓は心房中隔にある。
2. 心尖は第 2 肋間隙に位置する。
3. 冠状動脈は大動脈弓から分枝する。
4. 大動脈弁には腱索が付着している。

問題 40 動脈の走行で正しいのはどれか。

1. 左鎖骨下動脈は腕頭動脈から分枝する。
2. 尺骨動脈と橈骨動脈は手掌において吻合する。
3. 大腿動脈は内腸骨動脈から続く。
4. 足背動脈は後脛骨動脈から続く。

問題 41 トルコ鞍を取り囲んでいるのはどれか。

1. 横静脈洞
2. 海綿静脈洞
3. S 状静脈洞
4. 直静脈洞

問題 42 大腸で最も可動域が乏しい部位はどれか。

1. 虫垂
2. 上行結腸
3. 橫行結腸
4. S 状結腸

問題 43 結腸ヒモノの本数はどれか。

1. 1
2. 2
3. 3
4. 4

問題 44 腹膜垂がみられるのはどれか。

1. 十二指腸
2. 回腸
3. 橫行結腸
4. 直腸

問題 45 声帯ヒダ（声帯靱帯と声帯筋）が付着するのはどれか。

1. 気管軟骨
2. 披裂軟骨
3. 輪状軟骨
4. 喉頭蓋軟骨

問題 46 左肺で通常欠損している区域はどれか。

1. 区域 3
2. 区域 5
3. 区域 7
4. 区域 9

問題 47 横隔膜の食道裂孔を通過するはどれか。

1. 胸管
2. 横隔神経
3. 迷走神経
4. 交感神経幹

問題 48 腎臓で正しいのはどれか。

1. 腎小体は髓質にある。
2. 右腎静脈に右精巣静脈が流入する。
3. 腎筋膜は腎臓、副腎を包む。
4. 腎洞から弓状動脈が放射状に入る。

問題 49 膀胱三角で誤っているのはどれか。

1. 射精管が開口する。
2. 尿管が開口する。
3. 内尿道口がある。
4. 粘膜表面は平滑である。

問題 50 前立腺で正しいのはどれか。

1. 尿管で貫かれる。
2. 直腸の前方に接する。
3. 膀胱の上方に位置する。
4. 酸性の液を分泌する。

問題 51 受精は卵管のどこで起こるか。

1. 漏斗部
2. 膨大部
3. 峡部
4. 子宮部

問題 52 内分泌器で正しいのはどれか。

1. 松果体は視床下部にある。
2. 下垂体は第四脳室の下方にある。
3. 上皮小体は甲状腺の前面にある。
4. 副腎は腹膜後器官である。

問題 53 小脳にあるのはどれか。

1. 齧状核
2. 淡蒼球
3. 被殻
4. 尾状核

問題 54 伝導路で正しいのはどれか。

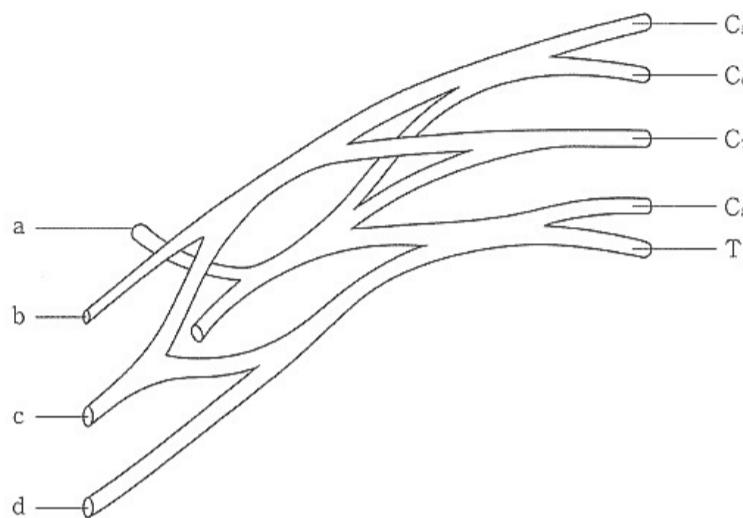
1. 隨意運動の伝導路は脊髄で左右交叉する。
2. 視覚伝導路は内側膝状体で中継される。
3. 温痛覚の伝導路は後索を上行する。
4. 錐体路は大脳脚を通る。

問題 55 橋背部に脳神経核群をもつのはどれか。

1. 内耳神経
2. 舌咽神経
3. 迷走神経
4. 舌下神経

問題 56 烏口腕筋を貫き、上腕の屈筋群を支配するのはどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d



問題 57 神経支配で正しいのはどれか。

1. 浅胸筋は胸神経前枝に支配される。
2. 側腹筋は腰神経叢の枝に支配される。
3. 横隔膜は頸神経叢の枝に支配される。
4. 深背筋第1層は脊髄神経後枝に支配される。

問題 58 動眼神経支配を受けるのはどれか。

1. 眼輪筋
2. 毛様体筋
3. 瞳孔散大筋
4. 上斜筋

問題 59 内耳に含まれるのはどれか。

1. 鼓膜
2. 鼓室
3. 前庭
4. 耳管

問題 60 体表から触れる部位と骨の組合せで正しいのはどれか。

1. 外果——脛骨
2. 肘頭——上腕骨
3. 頸切痕——肩甲骨
4. 乳様突起——側頭骨

問題 61 ペプチドホルモンの細胞内から細胞外への移動形式はどれか。

1. 共輸送
2. 単純拡散
3. 促通拡散
4. 開口分泌

問題 62 血液中で最も多いのはどれか。

1. 赤血球
2. 血小板
3. リンパ球
4. 顆粒白血球

問題 63 吸息時の肺胞内圧と胸膜腔内圧の組合せで正しいのはどれか。

1. 肺胞内圧が陽圧——胸膜腔内圧が陽圧
2. 肺胞内圧が陽圧——胸膜腔内圧が陰圧
3. 肺胞内圧が陰圧——胸膜腔内圧が陽圧
4. 肺胞内圧が陰圧——胸膜腔内圧が陰圧

問題 64 閉塞性換気障害で低下するのはどれか。

1. 1秒率
2. 肺活量
3. 残気量
4. 気道抵抗

問題 65 中性脂肪の構成成分はどれか。

1. アデノシン

2. アミノ酸
3. グリコーゲン
4. グリセロール

問題 66 水溶性ビタミンはどれか。

1. ビタミンA
2. ビタミンB<sub>1</sub>
3. ビタミンD
4. ビタミンK

問題 67 電子伝達系で最終的に産生されるのはどれか。

1. 水
2. 脂肪酸
3. アンモニア
4. ピルビン酸

問題 68 脲液に含まれる重炭酸塩の役割はどれか。

1. 脂肪の乳化
2. 胃酸の中和
3. 胆汁分泌の促進
4. ペプシノーゲンの活性化

問題 69 消化管からそのまま吸収されるのはどれか。

1. グルコース
2. 蛋白質
3. 中性脂肪
4. デンプン

問題 70 血漿膠質浸透圧への影響が大きいのはどれか。

1. アルブミン
2. グルコース
3. グロブリン
4. ナトリウム

問題 71 体温調節中枢の設定温度が上昇したときに生じるのはどれか。

1. 解熱
2. 発汗
3. ふるえ
4. 皮膚血管の拡張

問題 72 視床下部に存在するのはどれか。

1. 嘸下中枢
2. 言語中枢
3. 呼吸中枢
4. 摂食中枢

問題 73 量の比較で正しいのはどれか。

1. 糯球体ろ過量 > 腎血漿流量 > 尿量
2. 糯球体ろ過量 > 尿量 > 腎血漿流量
3. 腎血漿流量 > 糯球体ろ過量 > 尿量
4. 腎血漿流量 > 尿量 > 糯球体ろ過量

問題 74 成長ホルモンの分泌を増加させるのはどれか。2つ選べ。

1. 運動
2. 摂食
3. 睡眠
4. 飲水

問題 75 下垂体で合成されるホルモンはどれか。

1. アドレナリン
2. オキシトシン
3. 甲状腺刺激ホルモン
4. コルチゾール

問題 76 上皮小体ホルモンの作用で正しいのはどれか。

1. 骨吸収を増加させる。
2. ビタミンDを不活化する。
3. 腎臓からのカルシウムイオン排泄を増加させる。
4. 消化管からのカルシウムイオン吸収を低下させる。

問題 77 副交感神経系の活性化で生じるのはどれか。

1. 散瞳
2. 唾液分泌の抑制
3. 心拍数の減少
4. 腸管運動の抑制

問題 78 大脳基底核の障害で認められるのはどれか。

1. 企図振戦
2. 推斥障害
3. 筋緊張異常
4. バビンスキー反射

問題 79 脊髄反射はどれか。

1. 頸反射
2. 屈曲反射
3. 立ち直り反射

#### 4. 前庭迷路反射

問題 80 骨格筋 I 型筋線維の特徴はどれか。

1. 収縮が速い。
2. 筋疲労しにくい。
3. ミオグロビンが少ない。
4. ミトコンドリアが少ない。

問題 81 骨格筋の収縮時にカルシウムイオンが結合するのはどれか。

1. アクチン
2. ミオシン
3. トロポニン
4. トロポミオシン

問題 82 誘発筋電図における H 波で正しいのはどれか。

1. 脊髄を介して発生する。
2. M 波より短い潜時で発生する。
3. 筋を電気刺激することで発生する。
4. α 運動神経を電気刺激することで発生する。

問題 83 頭部の直線加速度を感知するのはどれか。

1. 蝸牛
2. 耳石器
3. 耳小骨
4. 半規管

問題 84 卵胞刺激ホルモンで正しいのはどれか。

1. 精子形成を促進する。
2. 視床下部で合成される。
3. ライディッヒ細胞に作用する。
4. アンドロゲン合成を促進する。

問題 85 妊娠初期に分泌が最大となるのはどれか。

1. エストロゲン
2. プロラクチン
3. プロゲステロン
4. ヒト総毛性腺刺激ホルモン

問題 86 骨格筋の最も小さい構造はどれか。

1. 筋原線維
2. 筋線維
3. 筋束
4. 筋フィラメント

問題 87 脊椎とその数の組合せで正しいのはどれか。

1. 頸椎——8
2. 胸椎——11
3. 腰椎——4
4. 仙椎——5

問題 88 隨意運動の発現で正しいのはどれか。

1. 運動への動機づけは大脳連合野が担う。
2. 大脳辺縁系からの信号は大脳感覚野に伝達される。
3. 大脳運動野からの運動指令は基底核に伝達される。
4. 小脳には運動のフィードバック調節機能がある。

問題 89 胸鎖乳突筋で正しいのはどれか。

1. 両側同時に収縮することはない。
2. 右側の収縮で頭部は左側に回旋する。
3. 左側の収縮で頭部は右側に側屈する。
4. 呼吸運動に作用しない。

問題 90 後腹壁を形成するのはどれか。

1. 腹直筋
2. 外腹斜筋
3. 内腹斜筋
4. 腰方形筋

問題 91 大腿骨に起始があるのはどれか。

1. 長腓骨筋
2. 短腓骨筋
3. 腓腹筋
4. ヒラメ筋

問題 92 立位姿勢の安定性が良いのはどれか。

1. 重心の位置が高い。
2. 支持基底の面積が狭い。
3. 重心線が支持基底の辺縁に近い。
4. 接触面との摩擦抵抗が大きい。

問題 93 ニューロンの髓鞘形成が遅いのはどれか。

1. 運動神経根
2. 小脳
3. 錐体路
4. 大脳交連

問題 94 乳幼児の運動と初めて可能となる時期の組合せで誤っているのはどれ

か。

1. 頭位保持——6か月
2. つかまり立ち——8か月
3. 独り歩き——1歳
4. スキップ——5歳

問題 95 床反力で正しいのはどれか。

1. 垂直分力は歩行周期で2つの主峰を持つ。
2. 前後分力は踵接地で前向きに働く。
3. 側方分力は片脚支持期の間は外向きに働く。
4. 垂直分力は下向きに働くことが多い。

問題 96 男性より女性に多い疾患はどれか。

1. 血友病
2. 甲状腺癌
3. 心筋梗塞
4. 肺癌

問題 97 内因と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. 乳児期——肝細胞癌
2. 女性——全身性エリテマトーデス
3. 日本人——前立腺癌
4. 成長ホルモンの分泌異常——クッシング (Cushing) 病

問題 98 真菌感染症はどれか。

1. 梅毒
2. アメーバ赤痢
3. ツツガムシ病
4. ニューモシスチス肺炎

問題 99 アルコール性肝障害でみられる病変はどれか。

1. アミロイド変性
2. フィブリノイド変性
3. 脂肪変性
4. 糖原変性

問題 100 死の判定基準のうち脳死の基準のみに含まれるのはどれか。

1. 呼吸の停止
2. 心音の停止
3. 瞳孔反射の消失
4. 平坦脳波

問題 101 門脈圧亢進に続発する徵候で誤っているのはどれか。

1. 腹水
2. 脾腫
3. 肝硬変
4. 食道静脈瘤

問題 102 静脈血栓塞栓症における塞栓部位はどれか。

1. 門脈
2. 腎静脈
3. 冠状動脈
4. 肺動脈

問題 103 フィラリア症でみられる浮腫の成因はどれか。

1. 血管透過性の亢進
2. 毛細血管圧の上昇
3. 膜質浸透圧の低下
4. リンパ管の閉塞

問題 104 後天性の免疫不全はどれか。

1. 重症複合型免疫不全症
2. ディジョージ (Di George) 症候群
3. 伴性無ガンマグロブリン血症
4. ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症

問題 105 アレルギー反応で正しい組合せはどれか。

1. Rh 血液型不適合胎児赤芽球症——I型
2. 気管支喘息——II型
3. バセドウ (Basedow) 病——III型
4. ツベルクリン反応——IV型

問題 106 女性ホルモンの影響を受ける悪性腫瘍はどれか。2つ選べ。

1. 乳癌
2. 肝癌
3. 子宮内膜癌
4. 悪性黒色腫

問題 107 常染色体劣性遺伝形式をとるのはどれか。

1. マルファン (Marfan) 症候群
2. デュシェンヌ (Duchenne) 型筋ジストロフィー
3. ゴーシエ (Gaucher) 病
4. クラインフェルター (Klinefelter) 症候群

問題 108 催奇形因子の説明で正しいのはどれか。

1. 妊娠3か月以降の風疹感染で胎児奇形発生率が高くなる。

2. 妊婦は低線量放射線曝露でも避けるべきである。
3. 妊娠後期の母体のショック、出血、貧血は催奇形因子である。
4. 胎児は薬剤など化学物質に対する感受性が低い。

問題 109 環境要因で正しい組合せはどれか。

1. 文化的要因——識字率
2. 化学的要因——工場の騒音
3. 生物的要因——職場の人間関係
4. 物理的要因——空気中の一酸化炭素濃度

問題 110 地域保健活動の進め方で正しいのはどれか。

1. 費用は考慮しない。
2. PDCA のサイクルを意識して進める。
3. 産業保健の対象者とは重複しない。
4. 法律に基づき対象者を強制的に参加させる。

問題 111 平成 28 年の学校保健統計調査で児童の被患率がう歯に次いで高いのはどれか。

1. 喘息
2. 肥満傾向
3. 胸郭・脊柱異常
4. 裸眼視力 1.0 未満

問題 112 労働災害で正しいのはどれか。

1. 死亡災害は増加している。
2. 休業 4 日未満は補償されない。
3. 疲労と労働災害の発生は関係がない。
4. 精神障害による認定期数は増加している。

問題 113 新規に人工透析を導入する原因となる疾患で最も多いのはどれか。

1. 糖尿病
2. 肥満症
3. 高血圧症
4. 脂質異常症

問題 114 介護保険の要支援 2 で利用できるサービスはどれか。

1. 居宅サービス
2. 施設サービス
3. 介護予防サービス
4. 地域密着型サービス

問題 115 平成 28 年の食中毒統計において、発生件数の多い原因はどれか。2 つ選べ。

1. サルモネラ菌
2. ノロウイルス
3. ボツリヌス菌
4. カンピロバクター

問題 116 平成 26 年の患者調査における我が国的精神障害者の統計で正しいのはどれか。

1. 総患者数は約 200 万人である。
2. 外来受療率で最も高いのは気分障害である。
3. 外来患者数は 20 年前に比べ減少傾向にある。
4. 入院受療率で最も高いのはアルツハイマー (Alzheimer) 病を含めた認知症である。

問題 117 我が国の医療保険制度で誤っているのはどれか。

1. 医療保険の制度は国民皆保険である。
2. 医療給付は原則、現金給付の形をとる。
3. 保険料に財源を求める社会保険方式である。
4. 健康保険組合、共済組合などを保険者と呼ぶ。

問題 118 感染経路と感染症の組合せで正しいのはどれか。

1. 空気感染——インフルエンザ
2. 産道感染——先天性風疹症候群
3. 接触感染——梅毒
4. 飛沫感染——麻疹

問題 119 金属器具に使用できない消毒薬はどれか。

1. グルタラール
2. 次亜塩素酸ナトリウム
3. 消毒用エタノール
4. クロルヘキシジン

問題 120 大気汚染物質として環境基準が定められているのはどれか。

1. 酸素
2. 窒素
3. 二酸化炭素
4. 浮遊粒子状物質

## 午後

問題 1 患者の権利として誤っているのはどれか。

1. プライバシーの権利
2. 黙秘権
3. 知る権利
4. 自己決定権

問題 2 個人情報保護法で正しいのはどれか。

1. 罰則規定がない。
2. プライバシー保護が目的である。
3. 接骨院は個人情報取扱事業者である。
4. 利用目的を特定する必要はない。

問題 3 柔道整復師が原則自らの判断で行えるのはどれか。

1. 脱臼への施術
2. 打撲への施術
3. 外科手術
4. 薬品投与

問題 4 施術所の開設届出先で正しいのはどれか。

1. 市町村長
2. 都道府県知事
3. 保健所長
4. 厚生労働大臣

問題 5 施術所の構造設備基準で誤っているのはどれか。

1. トイレを設けること
2. 常に清潔に保つこと
3. 施術器具等の消毒設備を有すること
4. 換気を充分にすること

問題 6 施術所の立入検査で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 令状が必要である。
2. 犯罪捜査が目的である。
3. 構造設備を検査する。
4. 都道府県知事の権限である。

問題 7 柔道整復師法で認められている広告はどれか。

1. 連携病院を有する旨
2. 施術所の開設届出済の旨
3. 認定柔道整復師である旨
4. 自費施術を専門とする旨

問題 8 我が国の最高法規はどれか。

1. 法律
2. 命令
3. 条例
4. 憲法

問題 9 医療提供施設の承認で正しいのはどれか。

1. 病院——市町村長
2. 臨床研究中核病院——都道府県知事
3. 特定機能病院——厚生労働大臣
4. 地域医療支援病院——内閣総理大臣

問題 10 医師の守秘義務違反を規定する法律はどれか。

1. 医療法
2. 刑法
3. 医師法
4. 健康保険法

問題 11 閉眼すると悪化する運動失調はどれか。

1. 大脳性
2. 小脳性
3. 前庭性
4. 脊髄後索性

問題 12 内部障害に対する全身調整運動のプログラムで正しいのはどれか。

1. 筋の自動的な伸長運動を行う。
2. 運動の持続時間は 10 分以上に設定する。
3. 運動強度はなるべく高く設定する。
4. 運動の頻度は重要ではない。

問題 13 松葉づえで正しいのはどれか。

1. 木製松葉づえは JIS 規格に制定されていない。
2. 長さは身長の  $\frac{3}{4}$  程度である。
3. 握りで体重を支える 2 点支持づえである。
4. 上肢に体重を支える力がなくても適応がある。

問題 14 リハビリテーションの目的はどれか。2 つ選べ。

1. 病気の治療
2. 障がい者の保護

- 3. 日常生活動作の自立
- 4. 障がい者の社会復帰

問題 15 前脛骨筋の筋力低下を生じるのはどれか。

- 1. 第2仙骨神経麻痺
- 2. 第2腰神経麻痺
- 3. 腓骨神経麻痺
- 4. 脛骨神経麻痺

問題 16 失語症で復唱が可能なのはどれか。

- 1. プローカ失語
- 2. ウエルニッケ失語
- 3. 伝導失語
- 4. 健忘失語

問題 17 写真（別冊 No. 1）を別に示す。

母指の運動はどれか。

- 1. 槍側外転
- 2. 槍側内転
- 3. 掌側外転
- 4. 掌側内転

別冊No.1 写真

問題 18 機能的自立度評価法（FIM）で監視または準備が必要だが、一人で実施可能な場合のレベルはどれか。

- 1. 7
- 2. 6
- 3. 5
- 4. 4

問題 19 86歳の男性。3年前に脳卒中になり、現在、屋内の生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない状況で、外出の頻度も少なく自宅も寝たり起きたりの生活をしている。障害高齢者の日常生活自立度の分類はどれか。

- 1. A 1
- 2. A 2
- 3. B 1
- 4. B 2

問題 20 脳卒中のリハビリテーション治療で正しいのはどれか。

- 1. ポジショニングはできるだけ早期に開始する。
- 2. 寝返りができない患者では約4時間おきに体位変換する。
- 3. 関節拘縮を防ぐため週3回の関節可動域訓練が必要である。
- 4. 中等度の意識障害があっても座位訓練を行う。

問題 21 45歳の男性。高所からの転落で頸髄損傷を受傷した。職業はパソコン操作によるデスクワークだが、自家用車での通勤が必要である。

- 改造自動車を用いた運転が可能な損傷レベルはどれか。
- 1. 第4頸髄節残存
  - 2. 第5頸髄節残存
  - 3. 第6頸髄節残存
  - 4. 第7頸髄節残存

問題 22 肘関節の屈曲と頭部前屈による前かがみ姿勢を特徴とするのはどれか。

- 1. 破傷風
- 2. 被殻出血
- 3. クッシング（Cushing）病
- 4. パーキンソン（Parkinson）病

問題 23 栄養状態で正しいのはどれか。

- 1. 肥満はBMI25以上である。
- 2. 標準体重は身長×身長×23である。
- 3. 悪体质は極端にやせが進行した状態である。
- 4. 肥満度は（実測体重-標準体重）÷実測体重×100である。

問題 24 意識状態で皮膚をつねるなどの強い刺激のみに少し反応するのはどれか。

- 1. 傾眠
- 2. 昏睡
- 3. 昏迷
- 4. せん妄

問題 25 不随意運動で誤っている組合せはどれか。

- 1. 脳性麻痺——手関節のアトーヤ
- 2. 重症な肝疾患——羽ばたくような振戦
- 3. 甲状腺機能低下症——振幅の小さな手指の振戦
- 4. ハンチントン（Huntington）病——踊るような動作

問題 26 一側性の錐体路障害でみられる歩行はどれか。

- 1. 鷄歩
- 2. 突進歩行
- 3. 間欠性跛行

4. 分回し歩行

問題 27 爪が薄く弱くなり陥凹している場合に欠乏していると考えられるのはどれか。

- 1. 鉄
- 2. リン
- 3. 亜鉛
- 4. 蛋白質

問題 28 特徴的な顔貌について正しい組合せはどれか。

- 1. 顔面神経麻痺——眼瞼を開けられない。
- 2. 重症筋無力症——一見すると眠たそうである。
- 3. 大量のステロイド投与——三日月のような顔貌である。
- 4. バセドウ（Basedow）病——仮面のような顔貌である。

問題 29 胸水が貯留した胸部の打診音はどれか。

- 1. 清音
- 2. 鼓音
- 3. 濁音
- 4. グル音

問題 30 胃潰瘍の圧痛点はどれか。

- 1. オトガイ点
- 2. ボアス点
- 3. ランツ点
- 4. ムンロ一点

問題 31 誤っている組合せはどれか。

- 1. 頸膜炎——項部硬直
- 2. 小脳疾患——筋トーヌスの低下
- 3. 膝関節液貯留——膝蓋骨跳動
- 4. 筋萎縮性側索硬化症——筋の仮性肥大

問題 32 生命徵候で異常値はどれか。

- 1. 脈拍90分
- 2. 血圧124/90mmHg
- 3. 腋窩体温36.0°C
- 4. 安静時呼吸数16分

問題 33 脳波検査が必要なのはどれか。

- 1. 糖尿病治療中の患者が顔面蒼白となり意識を失った。
- 2. 突然、体の動きが止まり回復後もその間の記憶がない。
- 3. 足関節を急激に背屈させると間代性に底屈、背屈を繰り返す。
- 4. 何もしていないときに丸薬をこねるような手指の運動が続く。

問題 34 肝細胞癌の原因疾患で最も多いのはどれか。

- 1. A型肝炎
- 2. B型肝炎
- 3. C型肝炎
- 4. E型肝炎

問題 35 急性胰炎で誤っているのはどれか。

- 1. 疼痛は仰臥位で軽減する。
- 2. アルコール多飲が誘因となる。
- 3. 血液検査でアミラーゼが上昇する。
- 4. 腹部エコーで胰臓の腫大がみられる。

問題 36 気管支喘息の治療薬で誤っているのはどれか。

- 1. アドレナリン
- 2.  $\beta_2$ 遮断薬
- 3. 抗アレルギー薬
- 4. 吸入ステロイド薬

問題 37 肺癌で正しいのはどれか。

- 1. 女性に多い。
- 2. 好発年齢は40～50歳代である。
- 3. 腫瘍マーカー検査で診断を確定する。
- 4. 末梢に発生すると多くは無症状である。

問題 38 心不全の症状で誤っているのはどれか。

- 1. 発熱
- 2. 下腿浮腫
- 3. 起座呼吸
- 4. 労作時の息切れ

問題 39 糖尿病の合併症でないのはどれか。

- 1. 眼底出血
- 2. 慢性腎臓病
- 3. くも膜下出血
- 4. 閉塞性動脈硬化症

問題 40 腎前性腎障害の原因となるのはどれか。

- 1. 脱水
- 2. 腎梗塞
- 3. 尿管結石
- 4. 糖尿病腎炎

問題 41 認知症を生じるのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 正常圧水頭症
3. ネフローゼ症候群
4. マロリー・ワイス (Mallory-Weiss) 症候群

問題 42 33歳の女性。5年前から日光過敏を自覚していた。1年前から口内炎を繰り返し、6か月前から両側の手関節の関節痛と脱毛を認めた。1か月前から発熱が持続したため来院した。体温38.2℃。尿所見では、タンパク陽性、潜血陽性。血液検査では、血小板減少、抗二本鎖DNA抗体陽性を認めた。

最も考えられる疾患はどれか。

1. 皮膚筋炎
2. 全身性強皮症
3. 全身性エリテマトーデス
4. ベーチェット (Behcet) 病

問題 43 75歳の女性。道ばたで転倒しているのが発見された。症状を尋ねたところ、右手足が動きにくいと訴えたため救急車を要請した。

誤っているのはどれか。

1. 頸髄損傷
2. 橋左側の脳出血
3. 右被殻部の脳出血
4. パーキンソン (Parkinson) 症候群

問題 44 機械的損傷はどれか。

1. 低温による凍傷
2. 紫外線による熱傷
3. 気圧による減圧症
4. 電気による電撃傷

問題 45 Ⅲ度の広範囲熱傷の治療で適切でないのはどれか。

1. 十分な輸液
2. 抗潰瘍薬の投与
3. 抗菌薬の全身投与
4. 血漿膠質浸透圧の補正

問題 46 感染症の治療で正しい組合せはどれか。

1. 破傷風——ペニシリン
2. ガス壊疽——抗毒素血清 (テタノブリン)
3. 皮膚カンジダ症——抗真菌薬
4. アスペルギルス症——テトラサイクリン

問題 47 輸血で正しいのはどれか。

1. 採血後6日以内のものを新鮮血という。
2. 保存血輸血は血小板の補給が期待できる。
3. 凝固因子の補充には新鮮凍結血漿を用いる。
4. 循環血液量の維持には血小板輸血を用いる。

問題 48 クロルヘキシジンで殺菌効果が期待できないのはどれか。

1. 結核菌
2. 多剤耐性菌
3. グラム陽性球菌
4. B型肝炎ウイルス

問題 49 縫合で誤っているのはどれか。

1. 汚染創では一次縫合を行う。
2. 神経縫合では神経鞘を縫合する。
3. 感染創ではデブリドマンを行う。
4. 消化管縫合では自動吻合器が使用される。

問題 50 脳死と臓器移植で誤っているのはどれか。

1. 急性拒絶反応の時期は移植後2~3か月以内である。
2. 心臓移植後の生存率は3年生存率70~80%である。
3. 脳死とは脳幹を含む全脳髄の可逆的な機能喪失の状態である。
4. 改正臓器移植法では家族の同意を得れば脳死下の臓器摘出が可能である。

問題 51 心肺蘇生で誤っている組合せはどれか。

1. 気道異物除去——上腹部圧迫法
2. 用手的気道確保——上顎挙上法
3. 胸骨圧迫心臓マッサージ——5cm以上圧迫
4. AED (自動体外式除細動器)——心室細動

問題 52 頭部外傷と症状の組合せで誤っているのはどれか。

1. 脳しんとう——セカンドインパクトシンドrome
2. 頭蓋底骨折——髄液鼻漏
3. 急性硬膜下血腫——意識障害
4. 慢性硬膜下血腫——激しい頭痛

問題 53 交通外傷により損傷を受けた臓器と胸腹部CT検査所見の組合せで誤っているのはどれか。

1. 肺——気胸
2. 肝——腹腔内出血
3. 脾——後腹膜出血
4. 消化管——腹腔内遊離ガス像

問題 54 28歳の男性。バイクを運転中に転倒し右側胸部を強打した。意識は清明。右側胸部に著明な疼痛があり、呼吸困難を訴えている。胸部エックス線検査で右第5・6肋骨骨折と右肺完全虚脱がみられた。

- まず行うべき治療はどれか。
1. 外固定
  2. 開胸手術
  3. 気管内挿管
  4. 胸腔ドレナージ

問題 55 骨癒合を促進させる因子でないのはどれか。

1. 血流の存在
2. 骨膜の残存
3. 解剖学的な整復
4. 力学的安定性の保持

問題 56 大理石骨病で誤っているのはどれか。

1. 骨硬化像を示す。
2. 水頭症を合併する。
3. 視力障害をきたす。
4. 病的骨折を生じる。

問題 57 繰発性骨粗鬆症の原因で誤っているのはどれか。

1. 関節リウマチ
2. 副腎皮質ステロイド薬
3. 甲状腺機能低下症
4. 安静臥床

問題 58 6歳の男児。ガワーズ徵候陽性で、両側の下腿三頭筋は肥大している。病状が進行するとみられる所見はどれか。

1. 下肢深部腱反射亢進
2. 分回し歩行
3. 外眼筋麻痺
4. 呼吸量減少

問題 59 化膿性関節炎で誤っているのはどれか。

1. 起炎菌は黄色ブドウ球菌が多い。
2. 治療の第一選択は保存療法である。
3. 小児では血行感染が多い。
4. 糖尿病は発症の危険因子となる。

問題 60 シャルコー (Charcot) 関節の原因疾患となりうるのはどれか。

1. 糖尿病性神経炎
2. 神経痛性筋萎縮症
3. エルプ (Erb) 麻痺
4. シャルコー・マリー・トゥース (Charcot-Marie-Tooth) 病

問題 61 変形と原因の組合せで正しいのはどれか。

1. 三尖手——胸郭出口症候群
2. 鷺手——外反肘
3. 下垂手——後骨間神経麻痺
4. 猿手——ギヨン (Guyon) 管症候群

問題 62 つま先歩き跛行になるのはどれか。

1. フライバーグ (Freiberg) 病
2. ブラント (Blount) 病
3. ケーラー (Köhler) 病
4. セーバー (Sever) 病

問題 63 化学療法に感受性の低い悪性骨腫瘍はどれか。

1. 悪性リンパ腫
2. 骨肉腫
3. 軟骨肉腫
4. ユーイング (Ewing) 肉腫

問題 64 30歳の男性。6か月前から運動で軽減する腰痛があり、腰椎の背屈制限を伴っている。この患者にみられる所見はどれか。

1. 腱付着部炎
2. 間欠性跛行
3. 関節内石灰沈着
4. 腸骨翼形成不良

問題 65 70歳の女性。転倒して大腿骨近位部を骨折した。二重エネルギーエックス線吸収法による腰椎の骨密度は若年成人平均値の78%であった。

骨粗鬆症の薬物治療を開始する判断で正しいのはどれか。

1. 今すぐに開始する。
2. 喫煙歴があれば開始する。
3. 脆弱性骨折の家族歴があれば開始する。
4. 今後骨密度の低下が生じれば開始する。

問題 66 完全骨折はどれか。

1. 陥凹骨折
2. 竹節状骨折
3. 剪断骨折

#### 4. 骨膜下骨折

問題 67 骨挫傷が証明される画像はどれか。

1. 超音波
2. 単純エックス線
3. CT
4. MRI

問題 68 関節包内骨折はどれか。

1. 上腕骨外科頸骨折
2. 上腕骨頸上骨折
3. 大腿骨頸部内側骨折
4. 大腿骨大転子単独骨折

問題 69 握雪音を生じるのはどれか。

1. 仮骨の軟化
2. 外傷性皮下気腫
3. 偽関節
4. 外傷性骨化性筋炎

問題 70 施術録で正しいのはどれか。

1. 患者本人以外に対する説明は記載しない。
2. 訂正する場合は修正液を用いる。
3. 業務範囲外で転医した場合は記載しない。
4. 施術完結の日から 5 年間保存する。

問題 71 骨折の固定で正しいのはどれか。

1. 骨折部の安静を目的とする。
2. 解剖学的正位を原則とする。
3. 範囲は患部より遠位 2 関節とする。
4. 期間はリモデリング期終了までとする。

問題 72 胸骨骨折で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. ハンドル損傷で発生する。
2. 斜骨折が多い。
3. 呼吸運動に障害はみられない。
4. 合併症に縦隔内臓器損傷がある。

問題 73 ゴルフの右スイングによる肋骨疲労骨折の好発部位はどれか。

1. 右第 1・2 肋骨斜角筋付着部
2. 右第 7・8 肋骨結節部
3. 左第 3・4 肋骨前鋸筋付着部
4. 左第 5・6 肋骨角部

問題 74 腰椎椎体圧迫骨折で正しいのはどれか。

1. 下位腰椎に多発する。
2. 椎体は楔状変形を呈する。
3. 亀背変形を呈する。
4. 脊髄症状を呈する。

問題 75 肩甲骨体部骨折で正しいのはどれか。

1. 介達外力による発生が多い。
2. 橫骨折はまれである。
3. 大きな転位を生じる。
4. 上肢の外転動作が困難となる。

問題 76 上腕骨解剖頸骨折で正しいのはどれか。

1. 小児に好発する。
2. 骨折部の変形が著明である。
3. 肩関節内転位で固定する。
4. 阻血性骨壊死の危険性がある。

問題 77 上腕骨頸上伸展型骨折で正しいのはどれか。

1. 頸上部に強力な後方凸の屈曲力が働き発生する。
2. 肘関節部に高度な腫脹を認める。
3. 肘関節前方脱臼との鑑別が必要である。
4. 偽関節を生じやすい。

問題 78 肘関節伸展位で固定するのはどれか。

1. 上腕骨骨幹部骨折
2. モンテギア (Monteggia) 骨折屈曲型
3. 上腕骨内側上頸骨折
4. 桡骨頭骨折

問題 79 前腕骨遠位端部骨折で正しい組合せはどれか。

1. コーレス (Colles) 骨折——鋤状変形
2. スミス (Smith) 骨折——フォーク状変形
3. バートン (Barton) 骨折——遠位桡尺関節不全脱臼
4. ショウファー骨折——関節内骨折

問題 80 手舟状骨骨折で誤っているのはどれか。

1. 手関節背屈橈屈時に運動痛がある。
2. 関節内骨折はまれである。
3. 近位  $\frac{1}{3}$  の骨折は壊死が生じやすい。
4. スナップボックスの圧痛がある。

問題 81 外傷と固定方法の組合せで正しいのはどれか。

1. 鎖骨骨折——ハンギングキャスト
2. ガレアジ (Galeazzi) 骨折——ショートアームキャスト
3. 膝内側側副靱帯損傷——シリンダーキャスト
4. 脛骨粗面部骨折——PTB キャスト

問題 82 棘果長が延長するのはどれか。

1. デュベルニー (Duverney) 骨折
2. マルゲーニュ (Malgaigne) 骨折
3. 大腿骨頸部内転型骨折
4. 股関節後方脱臼

問題 83 大腿骨骨幹部骨折で誤っているのはどれか。

1. 介達外力による発生が多い。
2. 斜骨折は再転位の傾向が強い。
3. 開放性骨折となることがある。
4. ショック、合併症に十分注意する。

問題 84 足根骨骨折で正しい組合せはどれか。

1. 距骨骨折——リスフラン関節脱臼の合併
2. 跡骨骨折——ベーラー角の減少
3. 舟状骨骨折——足底の感覺障害
4. 立方骨骨折——内側アーチの低下

問題 85 反復性肩関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 上腕二頭筋長頭腱損傷の合併が多い。
2. サルカス徵候が出現する。
3. 高齢者に多くみられる。
4. 肩甲下筋が障害される。

問題 86 橋骨頭脱臼で正しいのはどれか。

1. 後方に脱臼することが多い。
2. 前腕回外強制で発生する。
3. 尺骨骨折を伴うことが多い。
4. 前骨間神経損傷を合併する。

問題 87 手のPIP関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 掌側脱臼が多い。
2. 浅指屈筋腱断裂ではDIP関節を屈曲できない。
3. 正中索の損傷の場合は屈曲位で固定する。
4. ボタン穴変形は徐々に発生する。

問題 88 股関節脱臼を腹臥位で整復するのはどれか。

1. 紊引法
2. デパルマ法
3. コッヘル法
4. スティムソン法

問題 89 膝関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 前方脱臼は過度の屈曲が強制され発生する。
2. 後方脱臼はダッシュボード損傷で発生することが多い。
3. 外側脱臼は下腿が内旋する。
4. 内側脱臼は完全脱臼となる。

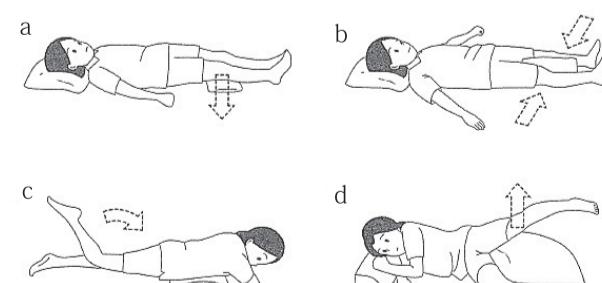
問題 90 膝蓋骨脱臼で正しいのはどれか。

1. 膝蓋骨は内方へ転位することが多い。
2. Q角は減少する。
3. 膝は軽度屈曲位に弾性固定される。
4. 膝関節 90 度屈曲位で固定する。

問題 91 膝蓋骨外側脱臼の固定除去後に行う筋力強化で有効なのはどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d

矢印は運動方向を示している。



問題 92 神経根型の頸部捻挫で正しいのはどれか。

1. 胸鎖乳突筋の筋力低下
2. 上肢の感覺障害
3. 肩関節の拘縮
4. 下肢深部反射の減弱

問題 93 各検査の評価方法で誤っているのはどれか。

1. SLR は膝伸展位で股関節屈曲 90 度までの疼痛出現をみる。
2. ルーステストは 1 分間の運動継続をみる。
3. スピードテストは結節間溝への疼痛出現をみる。
4. ファーレンテストは 1 分以内の症状出現をみる。

問題 94 クワドリラテラルスペース症候群で誤っているのはどれか。

1. 腋窩神経の絞扼性障害である。
2. 肩関節外転動作が困難となる。
3. 棘下筋に萎縮がみられる。
4. 肩外側に感覚障害を認める。

問題 95 末梢神経障害と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 前骨間神経麻痺——母指球筋の萎縮
2. 後骨間神経麻痺——ティアドロップアウトライン
3. 肘部管症候群——フローマンサイン
4. 円回内筋症候群——骨間筋の萎縮

問題 96 単純性股関節炎で正しいのはどれか。

1. 女児に多く発生する。
2. 両側同時発症はない。
3. 股間節開排制限が特徴である。
4. 大腿骨頭壞死を起こすことがある。

問題 97 大腿部前面の打撲で誤っているのはどれか。

1. コンタクトスポーツで多くみられる。
2. 初期は膝関節屈曲位で固定する。
3. 受傷後 24 時間を経過したら温熱療法が有効である。
4. 疼痛増悪時は医師に診断を仰ぐ。

問題 98 腹臥位で被検者の膝関節を 90 度屈曲位とし、検者が下腿と踵部を把握、脛骨長軸近位方向へ圧迫を加えながら下腿を内旋したところ、関節部に疼痛が誘発された。この徒手検査で判明する損傷部位はどれか。

1. 十字靭帯
2. 側副靭帯
3. 関節半月
4. 関節滑膜ひだ

問題 99 有痛性三角骨障害で正しいのはどれか。

1. 足部の過剰骨で最も頻度が高い。
2. 足関節最大背屈で疼痛を訴える。
3. 足関節後内側の疼痛がみられる。
4. 足関節捻挫を契機に発症する。

問題 100 足根管症候群で正しいのはどれか。

1. 足根管は内果後壁と伸筋支帯で形成される。
2. 腓骨神経枝の絞扼性神経障害である。
3. 足背部の感覚異常が主症状である。
4. 過度回内足は足根管内腔を狭める。

問題 101 18 歳の男子。3 週前、サッカーの試合中に右足関節を捻挫し、施術を行っていた。現在、日常生活での歩行で足関節部に疼痛や不安感はないが、運動時に踵骨隆起部の疼痛を訴えている。テーピングの写真（別冊 No. 2）を別に示す。

競技復帰時に行う適切なテーピングはどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d

別冊No.2 写真

問題 102 70 歳の女性。石につまずき、手関節を軽度背屈位・過度回内位で手を衝いた。手関節の近位 2 cm 付近に限局性圧痛がみられ腫脹著明で、同部位の幅も著しく増大していた。

整復後の固定肢位はどれか。

1. 前腕回内位、手関節軽度掌屈位、軽度尺屈位
2. 前腕回内位、手関節軽度背屈位、軽度橈屈位
3. 前腕回外位、手関節軽度掌屈位、軽度橈屈位
4. 前腕回外位、手関節軽度背屈位、軽度尺屈位

問題 103 31 歳の男性。空手の稽古中、試し割りで板を拳で突いた際に受傷した。第 2 MP 関節付近に強い疼痛と腫脹を認め、拳を握ると疼痛が増強する。単純エックス線写真（別冊 No. 3）を別に示す。

この疾患で適切でないのはどれか。

1. 転位には骨間筋と虫様筋が作用する。
2. 側副靭帯を弛緩させると整復が容易になる。
3. 屈曲変形が残存すると伸展障害を起こす。
4. オーバーラッピングフィンガーに注意する。

別冊No.3 写真

問題 104 15 歳の男子。陸上 100m 走でスタートと同時に左股関節に疼痛が生じた。単純エックス線写真（別冊 No. 4）を別に示す。

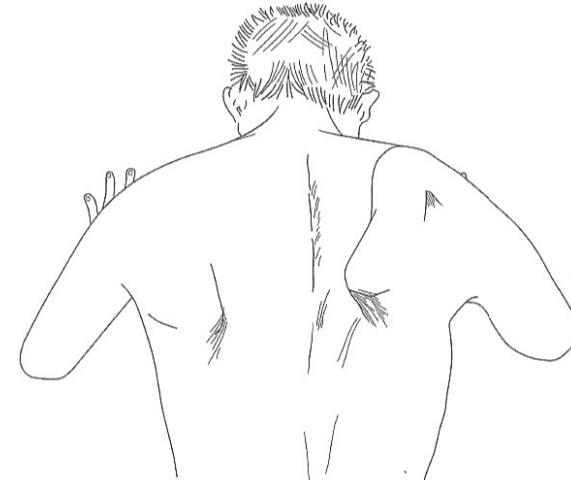
- 膝屈曲位で制限される股関節運動はどれか。
1. 屈曲・外転・外旋
  2. 屈曲・内転・内旋
  3. 伸展・外転・外旋
  4. 伸展・内転・内旋

別冊No.4 写真

問題 105 19 歳の男性。2 か月前にスノーボード滑走中に右肩を衝いて転倒した。肩関節の動きは悪かったが放置していた。症状が一向に改善しないため来所した。初検時、頸部から肩甲部にかけての自発痛があり、肩関節自動運動は屈曲 90 度、外転 80 度に制限されていた。両手で壁を押し付けさせる動作をしたところ、図のような現象がみられた。

最も考えられるのはどれか。

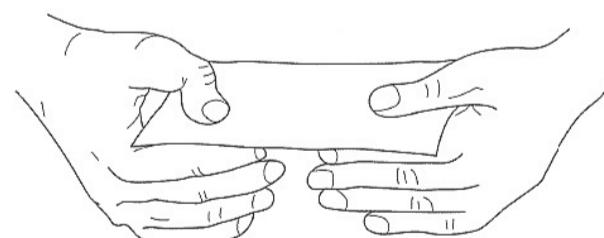
1. 鎖骨不全骨折
2. 肩関節脱臼
3. 棘上筋腱損傷
4. 長胸神経麻痺



問題 106 22 歳の男性。サイクリングが趣味である。最近、右手の環指、小指のしづれを自覚し来所した。図の検査を実施し陽性であった。わずかであるが骨間筋と小指球筋に萎縮がみられた。また、前腕の感覚障害はみられなかった。

他に考えられる所見はどれか。

1. 下垂指
2. 祝祷肢位
3. スワンネック変形
4. 鉤爪指変形



問題 107 25 歳の女性。2 週前、転倒した際に右手を衝いて受傷したが、しばらく安静にしていたので症状は治まっていた。最近、手を使う作業が多く、手関節尺側に疼痛が出現してきたので来所した。手関節尺側部に圧痛があり、尺骨頭に軽度不安定性がみられた。

困難な動作はどれか。

1. ドアノブを捻る。
2. 食事を摂る。
3. 顔を洗う。
4. 文字を書く。

問題 108 8 歳の男児。6 歳からサッカーを始めた。特に肥満はない。1 か月前から右膝から大腿部にかけての疼痛を訴えていた。しばらく様子をみていたところ、母親が跛行に気付き来所した。膝関節に腫脹や圧痛、不安定性などはなく、大腿部も若干の筋緊張はあるものの明確な所見はなかった。股関節は外転・外旋に制限がみられた。スカルパ三角部に圧痛を認め、パトリックテストも陽性であった。

最も考えられるのはどれか。

1. 鼠径部痛症候群
2. 単純性股関節炎
3. ペルテス (Perthes) 病
4. 大腿骨頭すべり症

問題 109 36歳の女性。退職し母親の介護を始めた昨年から体重が10kg増加した。2週前から右足関節内果周辺に疼痛がみられ、内果後方から遠位にかけて軽度の圧痛を認めた。踵部は外反位を呈し、つま先立ちは痛みのため困難である。

考えられる疾患はどれか。

1. 内果疲労骨折

2. シンスプリント

3. 変形性足関節症

4. 後脛骨筋腱炎

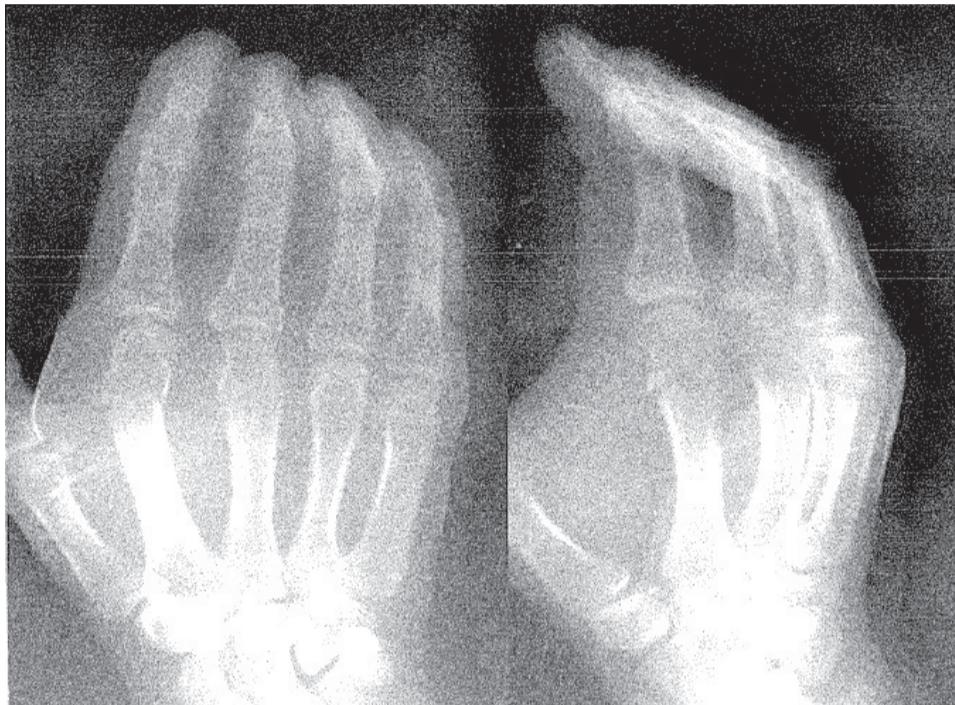
問題 110 30歳の男性。スキーパス走中に転倒し、ストックのストラップに右母指が引っ掛けられ受傷した。来所時右母指に疼痛、腫脹がみられた。

最も困難な動作はどれか。

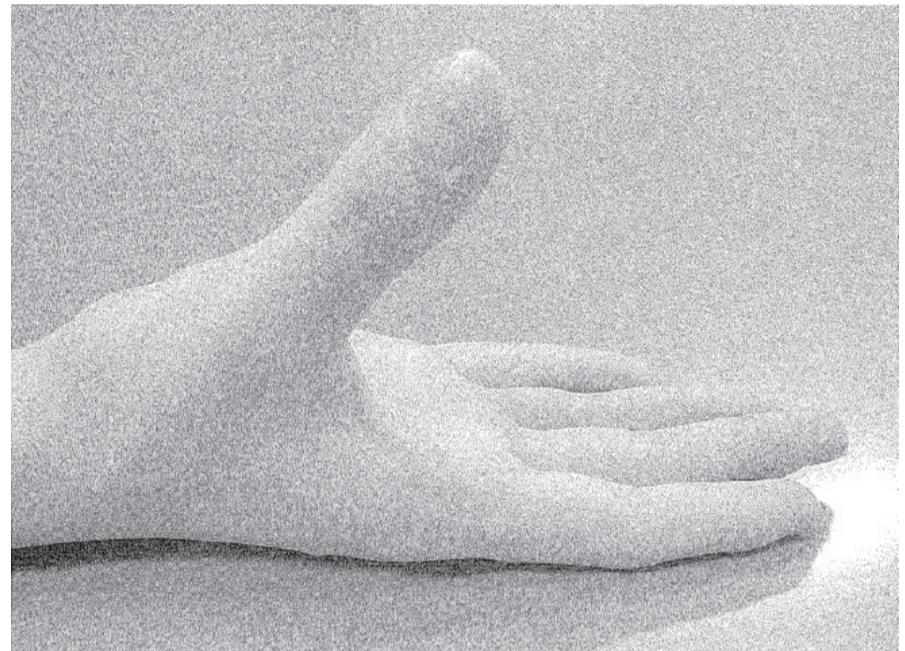
1. キーボードを叩く。
2. 鍵を回す。
3. ボールを握る。
4. 瓶の蓋を開ける。

## 別 冊

No. 3 (午後 問題103)



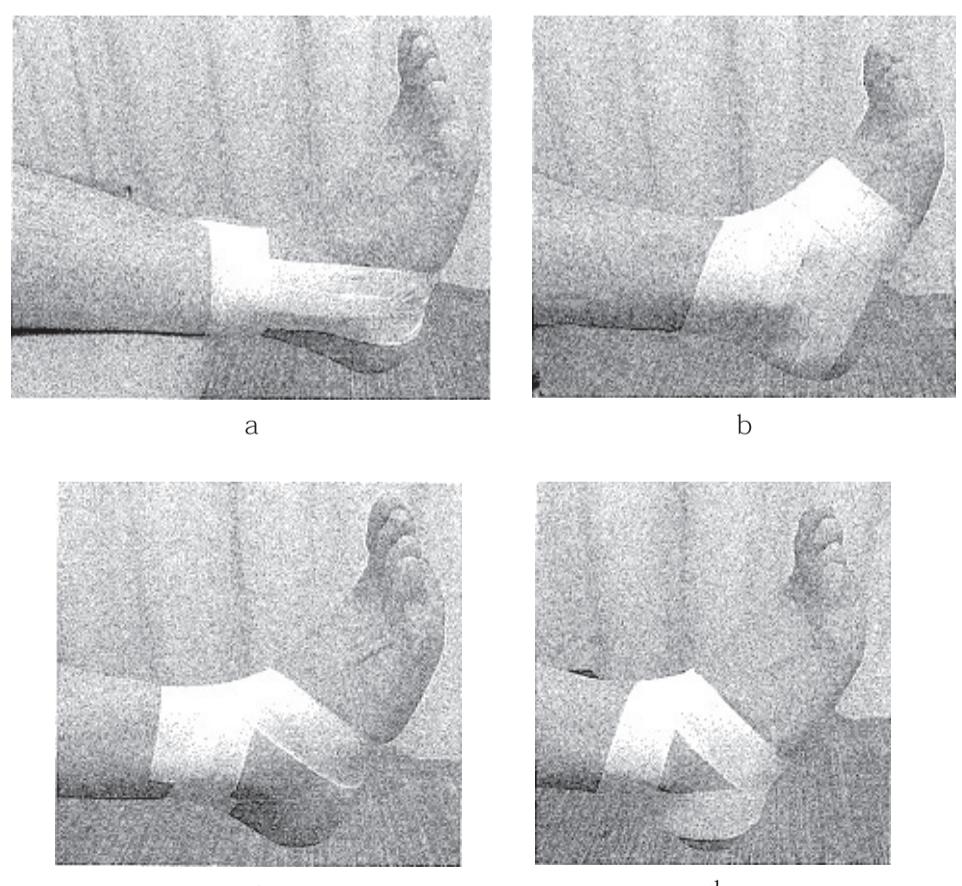
No. 1 (午後 問題17)



No. 4 (午後 問題104)



No. 2 (午後 問題101)



※試験問題の解答は次号掲載予定

## 第27回 柔道整復師国家試験正答

午前	問題34	2	問題68	2	問題102	4	問題15	3	問題49	1	問題83	1	
問題1	3	問題35	2	問題69	1	問題103	4	問題16	4	問題50	3	問題84	2
問題2	3	問題36	4	問題70	1	問題104	4	問題17	3	問題51	2	問題85	4
問題3	3	問題37	3	問題71	3	問題105	4	問題18	3	問題52	4	問題86	3
問題4	1	問題38	3	問題72	4	問題106	1,3	問題19	2	問題53	3	問題87	4
問題5	2	問題39	1	問題73	3	問題107	3	問題20	1	問題54	4	問題88	4
問題6	3	問題40	2	問題74	1,3	問題108	2	問題21	4	問題55	3	問題89	2
問題7	4	問題41	2	問題75	3	問題109	1	問題22	4	問題56	2	問題90	3
問題8	3	問題42	2	問題76	1	問題110	2	問題23	1	問題57	3	問題91	1
問題9	3	問題43	3	問題77	3	問題111	4	問題24	3	問題58	4	問題92	2
問題10	4	問題44	3	問題78	3	問題112	4	問題25	3	問題59	2	問題93	2
問題11	1	問題45	2	問題79	2	問題113	1	問題26	4	問題60	1	問題94	3
問題12	2	問題46	3	問題80	2	問題114	3	問題27	1	問題61	2	問題95	3
問題13	4	問題47	3	問題81	3	問題115	2,4	問題28	2	問題62	4	問題96	2
問題14	2	問題48	3	問題82	1	問題116	2	問題29	3	問題63	3	問題97	3
問題15	1	問題49	1	問題83	2	問題117	2	問題30	2	問題64	1	問題98	3
問題16	4	問題50	2	問題84	1	問題118	3	問題31	4	問題65	1	問題99	4
問題17	1	問題51	2	問題85	4	問題119	2	問題32	2	問題66	3	問題100	4
問題18	1	問題52	4	問題86	4	問題120	4	問題33	2	問題67	4	問題101	2
問題19	3	問題53	1	問題87	4	午後			問題34	3	問題68	3	
問題20	4	問題54	4	問題88	4	問題1	2	問題35	1	問題69	2	問題102	4
問題21	2	問題55	1	問題89	2	問題2	3	問題36	2	問題70	4	問題103	2
問題22	4	問題56	2	問題90	4	問題3	2	問題37	4	問題71	1	問題104	1
問題23	2	問題57	3	問題91	3	問題4	2	問題38	1	問題72	1,4	問題105	4
問題24	4	問題58	2	問題92	4	問題5	1	問題39	3	問題73	4	問題106	4
問題25	3	問題59	3	問題93	4	問題6	3,4	問題40	1	問題74	2	問題107	1
問題26	1	問題60	4	問題94	1	問題7	2	問題41	2	問題75	4	問題108	3
問題27	3	問題61	4	問題95	1	問題8	4	問題42	3	問題76	4	問題109	4
問題28	3	問題62	1	問題96	2	問題9	3	問題43	3	問題77	2	問題110	2
問題29	4	問題63	4	問題97	2	問題10	2	問題44	3	問題78	2		
問題30	2	問題64	1	問題98	4	問題11	4	問題45	3	問題79	4		
問題31	3	問題65	4	問題99	3	問題12	2	問題46	3	問題80	2		
問題32	1	問題66	2	問題100	4	問題13	2	問題47	3	問題81	3		
問題33	4	問題67	1	問題101	3	問題14	3,4	問題48	4	問題82	1		